

商店街「空から明るく」



京田辺 キララ商店街

近鉄新田辺駅の東側に広がる京田辺市のキララ商店街の路地に9日、パラソルを吊るした「アーケード」が登場。市内の幼稚園児らが描いた色とりどりのパラソルが、訪れる人を楽しませている。

幅約6分の路地の両側にある店舗の2階から、高さ約4分の位置にワイヤーを渡し、約15分の間に60本の傘が吊るされている。市立松井ヶ丘幼稚園の3歳から5歳の園児と保護者が、透明のビニール傘にアクリル絵の具で

パラソルの「アーケード」登場

同女大生アイデア

「花」をテーマに絵を描いた。ひまわりやチューリップなど色鮮やかな絵が青空に映え、道行く人が見上げては、スマートフォンで写真を撮るなどしてユニークな「アーケード」の登場に驚いた様子だった。この日も市内最高気温が36・7

度と猛暑日となったが、時折り吹く風に乗や一緒に吊るされた風鈴が揺れ、ひと時の涼しさを演出した。アイデアは、地域の活性化策などに取り組む同志社女子大情報メディア学科の学生たちが発案。9人の学生が授業の一

環で、「parasoia(ぱらそあ)」という仮想企業を立ち上げ、「会社」の事業として取り組んだ。商店街や地域の協力を得て、「静かで味気ない」といった印象を「視覚的に明るくしよう」と、準備を進めてきた。完成初日には、絵を描いた園児や保護者、学生がテープカットして、商店街のマスケットキャラクタ―「キララちゃん」と通り初めをした。花火大会がある16日まで飾られる予定。

絵を描いた高原峻介くん(3)は「きれいでできた」と笑顔だった。鶴田桃子ちゃん(5)は「お姉さんたちが手伝ってくれて、楽しかった」と完成を喜んでいった。企画した「社長」の川勝友加子さん(20)は3年生。「完成できるか不安もあったが、たくさんのお力を頂き想像以上に出来た。訪れる人の心が少しでも明るく、楽しくなれば」と話していた。

同商店街事業協同組合の田原剛理事長(46)は「素晴らしいアイデアで、一緒に取り組んでいきたい。商店街の新たな夏の風物詩になれば」と話している。

【小日向一】

学生のメンバーは次ぎの皆さん(敬称略)。3年生・川勝友加子さん、以下2年生・中島あさ美、大村莉世、近藤春佳、飯田奈佑、佐々岡菜生、村野未夢、山下菜摘、山本愛

【写真は商店街の「空」を彩る傘のアーケードを通り初めをする園児ら】

洛南タイムス

洛南タイムス社
 〒520-0801 宇治市宇治一丁目26番地
 TEL (0774) 22-4109
 FAX (0774) 20-1417
 http://www.rakuten.jp
 E-mail rakuten1954@mail.com

日本医療機能評価機構認定病院
 救急告示病院 臨床研修指定病院

田辺中央病院

健康管理中心
 0774-63-1111
 Medicar Crane 京田辺

残暑お見舞い申し上げます

残暑お見舞い申し上げます